



東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

＜検定対策コラム 第二回 4級レベル筆記＞

今回は4級で出題される過去時制《直説法近過去》にスポットをあてましょう。avere と essere の活用形はもう知っているの、新たに登場するのは過去分詞（以下 pp.と略記）だけ。prendere ⇒ preso など -ere 動詞には不規則形が多いですが、直説法現在のように活用形をひとつひとつ覚える必要はないので、ちょっとラクな気がしますね。でも、助動詞が avere になるか essere になるかというポイントには、心してかからなくてはなりません。直接目的語（直接補語）を必要とする他動詞であれば《avere+pp.》、再帰動詞なら《essere+pp.》と決まっているので迷わなくてすみますが、一筋縄でいかないのは自動詞。andare, stare などは《essere+pp.》だけれど、dormire「眠る」、viaggiare「旅する」のように、avere を使う自動詞も少なくないからです。それどころか、使い方によって他動詞にも自動詞にもなるものまであります。

①Domenica Mario è venuto a casa mia con le loro figlie e _____ il pomeriggio insieme.

- a) abbiamo passato b) siamo passato
c) abbiamo passati d) siamo passati

(2012年秋N45 正答率36.4%)

動詞 passare には、「(場所を)通過する」(自動詞)だけでなく、「(時間を)過ごす」(他動詞)の意味もあります。出題された問題は、「一緒に午後を過ごした」ということなので、正解は a) abbiamo passato。d) siamo passati と答えた方の数が、なんと正解者を上回りました！「通過する」の場合には Siamo passati per il centro. 「私たちは中心街を通った」のように前置詞 per を伴うこともあります。L'autobus è già passato. 「バスはもう通過した」のように前置詞がない場合もあります。文脈から、意味をしっかりとつかむことが肝心ですね。同じ仲間の動詞として finire 「(ことが)終わる」(自動詞)、「(人がことを)終える」(他動詞)、cominciare 「(ことが)始まる」(自動詞)、「(人がことを)始める」(他動詞)などがあります。avere と essere の使い分けは、さらに上のレベルのさまざまな過去時制にも共通です。この段階でマスターしておきましょう。

もうひとつ、〈近過去〉と〈半過去〉の使い分けも、大事なポイントです。これはイタリア語の森に深く分け入って、イタリア語がどういうものなのかかなりわかった、もうコワイものはない...と感じられるようになった後でも、なお悩ましい問題ですが、とりあえず基本的な法則をこの段階でしっかり抑えておきましょう。

②Per tanti anni Michela _____ un corso di danza classica. Poi all'improvviso ha deciso di smettere.

- a) frequenta b) frequenterà
c) frequentava d) ha frequentato

(2013年秋N.32 正答率32.9%)

「何年ものあいだミケーラはクラシックバレエ教室に通った。そのあと突然やめる決心をした」日本語の発想では「長年、通っていた」と考えるのが自然なので、つい半過去にしたいくなります。が、行為が続いた期間を明示する《per+時》があるので、ここは迷わず近過去 d) ha frequentato を選びましょう！

ちなみに c) frequentava と答えた方が半数近くにのぼり、正解は3割にとどまりました。そのすぐ後に ha deciso di smettere と近過去があるので、同じ時制ではダメなのかな、と迷いが生じたかもしれないかもしれませんが、poi でつないであれば、時間の流れにそってすべて近過去で表すことができるのです。

あわせて、frequentare 「～に通う」が、“a”などの前置詞を必要としない他動詞であること、したがって《avere+pp.》となることもチェックしておきましょう。出題頻度の高い動詞のひとつです！

(白崎容子：元慶応大学教授)



＜受験体験記＞

イタリア語の習熟度を測るため、準2級を受験し合格しました。

私の体験を振り返ると、過去問題（準2級・2級）の数年分を解いて自分の弱点を分析・把握し、それを克服できたことが合格の決め手になったと思います。

また、そのために、自分に合った勉強方法を見つけて楽しみながら取り組めたことも良かったです。

私は作文に苦手意識がありました。そこで語学学校に通って定期的に作文を書く環境を作り、添削してもらい書き直す作業を習慣付けました。様々なテーマで作文を書くことで、自信を持って書けるようになり、自分の言葉として使える語彙も増えました。また、普段の生活では纏まった勉強時間が確保できないため、通勤電車でリスニング問題を聞き、就寝前の数分を文法復習の時間にあてる等、僅かな時間を見つけて“この時間にはこれを勉強する”と決めて実践しました。

受験を決めた直後に過去問題を解いた時は、合格点からほど遠く、落ち込むこともありましたが、毎日少しずつイタリア語に触れ、地道に弱点と向き合うことで、解ける問題が増えていきました。その課程を楽しむこともできました。

まだ改善する点が多くあります。更に磨きをかけ、会話の勉強もして次回は2級を受験したいと思います。

佐野 彩

(2013年秋季 準2級合格)

イタリアに行ったのは3年前で、娘とツアーに申し込み、5都市を回りました。美しい世界に魅了され一度でとりこになりました。再度行く事を心に決め、イタリア語の勉強を始めました。

初めは本を見たりテープを聞いたり独学でしたが、解らないところを聞くに聞けないストレスから2年前より学校に通うようになりました。既に50歳を過ぎており、記憶力も集中力も衰えるなか、必死で勉強しました。

そろそろ基礎が終わる頃、検定を勧められ、軽い気持ちで過去問を解いてみました。それがビックリするやらガッカリするやらの低い点数で、きっと無理だろうと思いながら申し込んでみました。

どこへ行くにもテープを聞いて時間の許す限り問題を解きました。何十回、何百回聞くうちに、不思議にゆっくりと聞こえるようになりました。そして、例えば時計の絵が描いてあるとして、時間を問われるのは言うまでもありませんが、普段は・・・という単語が聞き取れたとして、「あっ、電車あるいはバスが遅れていて、今の時間を聞かれるのではないか」と質問の予測ができるようになりました。そして二度目の再生で確認ができるようになり、今まで58点中30点しか取れなかったのが常に40点は取れるようになりました。

そうです、一字一句理解できなくても大丈夫なのです。そうなる検定を受けるのが楽しくて楽しくて仕方ありません。結果はすぐには出ませんが、私にも出来るんだという自信にも繋がって、この検定が私に大きな勇気と希望を与えてくれたのは間違いありません。今はこれからの目標に向かって日々努力を重ねていきたいと思っています。まずは一歩から・・・

中村 朋子

(2014年春季 5級合格)

検定ニュース

◇2015年春第40回試験志願者数報告

(受験者数/志願者数)

	準2級	3級	4級	5級	合計
札幌	2/3	5/7	10/12	10/13	27/35
仙台	4/5	11/11	10/12	8/9	33/37
東京	118/140	188/240	220/267	137/173	663/820
横浜	13/13	30/40	33/43	23/31	99/127
金沢	0/0	5/5	7/8	9/10	21/23
名古屋	6/6	25/29	34/40	35/41	100/116
京都	21/26	28/42	51/63	18/28	118/159
大阪	30/32	62/68	72/83	39/51	203/234
岡山	4/4	6/6	10/13	9/11	29/34
広島	2/3	5/7	7/8	7/7	21/25
福岡	10/11	12/12	21/22	13/18	56/63
宮崎	0/0	1/1	1/1	1/2	3/4
那覇	0/0	0/0	0/1	1/1	1/2
ローマ	8/8	8/10	3/3	4/5	23/26
ミラノ	10/11	12/12	3/4	2/3	27/30
計	228/262	398/490	482/580	316/403	1424/1735
合格者数	228	398	482	316	626
合格率	34.2%	33.9%	44.6%	62.7%	44.0%

リスニングについての質問より:

●「準2級リスニングN14に質問文がなかった」との指摘がありました。問題冊子にかかれた3つの文のなかには、前半は同じで後半を選ぶものと、3つの違う文から選ぶものがあり、N14は後者の出題形式です。

●準2級リスニングN5~N8は問題も解答も聞いて答える問題です。解答の選択も聞きだけで

選びます。Ascoltare la registrazione, la domanda e le tre risposte che seguono e scegliere fra a,b,c, sul FOGLIO RISPOSTE.と指示が読まれ、冊子にも記載されています。



●イラストが細かくてわかりにくいところがあるところのご指摘 ⇒次回より大きくするようにいたします。

第40回検定でのアンケートから、今回は会場ごとに感想をピックアップしてみました。

(他の受験者の方々の感想はいかがですか?)

(札幌) 普段はイタリア語を独学していますが、試験会場で他の受験者の方を見ると「自分もがんばらなければ」と思います。/ 難しかった。勉強不足を感じました。秋には必ず合格したいです。/ 作文の時間がたりません。

(仙台) リスニングの試験がスピードが速くてついていけません(勉強不足なので当然だとは思いますが) (5級) / 難しかった、留学前までに少しでも語学力を上げられるように勉強に励みたい(準2級) / 控室に直前までいてしまい、試験会場にギリギリ入室しあせてしまった。リスニングはわからないところがあると頭が真っ白になってしまい、その後の問題まで影響してしまった。

(東京) 初めての受験だったが、ホームページの受験申込方法の説明も受験票の会場案内もわかりやすかったのでスムーズに受験できた。/ リスニングはスクリプトをみるとごく簡単な内容でも聞き取るのは難しい。/ 検定オタクのため、数多くの検定を受験してきた。語学では英検1級、仏検3級、独検3級に合格。今回インターネットで伊検を知り、そのページの内容が親切で、充実していたので好感もてた。(他の言語と比較して一番良い。)/ 英検や独検に比べてリスニングが多く、とても良いと思った。/ 古い教室での丁寧な対応(机に紙をはさむ・リスニング時にエアコンの音を消す)を感じた。/ 進行の女性が素晴らしかった。丁寧な言葉づかい・流れもスムーズだった。/ リスニングがむずかしかったが、仏検より内容や音声が面白い気がする。/ イタリア語を始めて1か月、なかなか面白い。/ 仕事が忙しく、通勤時間しか勉強を行うことができなかったが、それなりに検定試験を楽しむことができた。/ 3月は他の試験とかぶりにくいのでうれしい。/ リスニングの分量が多めに感じたが、現実の状況を考えるとよいと思う。なお、スペイン語をやっていると、取り組みやすく感じた。/ eラーニング利用している。(以上5級) / 2年独学して初めて受験した。楽しかった。/ やはり4級はむづかしかった。もし、うかれれば3級にチャレンジ。この2か月よく勉強しました。またイタリアに行ったとき少し通じるかな? / 最近eラーニングのコンテンツが充実してきて、非常に助かる。/ 仕事でイタリアへ行くことが多いので、いい機会だと思い受験したが、こんなに同じ受験者がいることに驚き、そしてもっと頑張ろうという刺激をもらえた。受験会場が大学というのも、学生気分を思い出し、新鮮でいいですね! / 試験運営お疲れ様です。受験者もあまり多くなく試験を続けるのも大変かと思いますが、今後もイタリア語普及のために頑張ってください。/ 大学1年生で第二外語としてイタリア語を約一年間勉強し1月末に大学で期末試験を受けて以来、せっかく勉強したのもったいないと思い受験した。とても楽しい試験だった。/ 字が適度に大きくて老眼の身としては助かった。(以上4級)

Antonio Meucci は progetto italiano II のテキストに出ていてやっていたので、すこしラッキーだった。リスニングは少しむずかしかったので結局最後まで不安だった。/ 100分は短かった。/ 秋と春の期間が短くて準備ができない。/ 初めて受けた。リスニングはとても楽しくできたが、文法・長文・作文がまだ実力不足と感じた。/ 2005年より3級だけを受け続けているが(今回4回目)、3級の対策本が1種類しかないの、今では答えを記号で覚えてしまった。/ いつも勉強不足で歯がゆい思いをしているが、この検定試験を楽しみにしている。/ 2回目の受験だが以前よりは手ごたえがあったので、イタリア語のスキルは少しずつ身につけているのだと実感した。/ リスニング、日頃の生活では2度言うことはないの、読みは一度で良いと思う。/ 何回受験してもむずかしくて合格しないが、やめてしまうと勉強もつづけなくなるので、受験し続ける。/ 約10か月間イタリアに留学したが、それだけではいまいち細かい文法まで理解していないなという感じがした。試験がリスニングだけならな〜と。(以上3級)

Passato remote と前置詞の domande があまりないのだと思った。また congiuntivo など。しかし混乱させられる良問に勉強の意欲がわいた。/ 事前の勉強が足りず準2級を受けたことをすこし後悔した。が、文法はわかって語彙が分からないものが多く「実用」だな!と感じた。Webサイトに掲載されている過去問が、特にリスニング音源が非常に役立った。/ 仏検や独検の同レベルと比べて難易度が高い。/ 運営陣の皆様、マイナーなイタリア語の検定試験を行ってくれてありがとうございます!受験者が少ない中、多言語と比べても高すぎない検定料で助かります。レベルを下げずに受験しがいのある内容でこれからも続けてください。また受けに来ます♡ (以上準2級)

(横浜) 係員の人の対応が丁寧だった。/ 自分の日頃の理解力を確認する上で、とても役立った。/ もし可能であれば会場で解答をいただきたい(仏検は配布している)(⇒火曜日にはHPで解答を掲載しています。事務局) / 毎回時間がたりません。まだまだ修業が足りないよう。(3級) / eラーニングで過去問の配信があるとは知らなかった。積極的に活用します。/ 開始前に「ため息をつかないで」と注意があったにもかかわらず、真後の人の溜息で気が散って参りました。/ イタリア文化がとても気に入っているの、退職したらイタリア語の勉強を始めようと思っていた。昨年9月に退職し、本格的(?ちょっとオーバー)に勉強をはじめた。まず5級からスタートし、今後は気力・体力が続く限り、上の級を目指そうと自分を励ましている。/ 伊語を長く勉強し、オペラで主要な言語として取り扱っているが、こういう機会でないとならば文法をまなばないので、良い再発見となった。留学をかんがえているので、国際的に使える資格となれば嬉しい。

(名古屋) eラーニングの過去問がいい勉強になった。/ 5級を受けたときは時間が十分だったが、4級はギリギリだった。/ イタリア語をしっかりと学ぶ機会をいただいて、感謝です。/ 受験生が少なくてびっくりした。やっぱりマイナーな言語なんだなあ…。/ まったく単語が頭に入っていない。先日イタリア単語集を見ていたら、ビーバーはカストロというそうで、キューバのフィデル、ラウル兄弟は、ビーバー兄弟らしい。たぶんスペイン語も同じであらう。/ 独学では作文対策が難しいと感じた。Lang 8 というサイトを利用して勉強したが、成果が出るか(点がとれるのか)全く見えない。/ リスニングの母と娘の会話は難しかったが新鮮だった(3級) / 3度目の正直を目指したのに時間配分を間違えた・・・後悔・・・ / イタリア語の学習を初めて一年ちょっとに。いつまで熱がさめずに続けられるかと思っていたが、今はネットでラジオを聴いたり、イタリアの新聞記事を読んだりできる時代で、少しずつイタリアがわかるようになっていくのが楽しい。伊検は一つの目安として、1級を目指したい。/ 毎回ごたえのある問題が出題される。イタリア語学習にはもってこいの試験である。

(金沢) イラストの線が細かくて分かりにくい場合がある。

(京都) 午前中は5級、午後は4級を受けた。疲れました。5級と4級の差が無いような、あるような・・・合格かどうか分からないのに、偉そうにはいえないが、量は多かった。イタリア語をしゃべれるようになりたい。/ できなかったことで次回へ向けて、モチベーションを上げていくことができそう。/ もう少し時制をやっておく。/ 3級は今回で二度目。今度こそはと思いつつ勉強したが・・・どれだけやっても十分ということはありませんね。受かっているといい。/ 社会人が多いと思うので、できれば午後開催を。日曜日の午前中はきつい。/ できれば作文は添削して返却願えば、今後の励みになるが。お手数がかかって無理でしょうね。/ 初受験、とりあえず5級を受けたが面白かった。次回も受験したい。/ ヒアリングむずかしい、3回聞けたら嬉しい!/ 勉強している時に、なかなか覚えられなかったことや、この内容がでたら自信無いなと思うところばかり出題されていた。皆さんこれを乗り越えてステップアップしていくのかとしみじみ思った。/ 5級受験者にとっては全体的にゆとりのある問題であったと思う。しかし問題に直面するとあやふやにしか覚えていない活用や形容詞に気づかされた。楽しくイタリア語を学習しているが、このような検定があると励みになる。もっとイタリア語学習につながる場が増えるといいと思う。

(大阪) もっと単語が分かれば楽しく解けると思いました、前回の5級よりもわかる問題が多く(そう思っているだけ?)成長した様。(笑)/ 文法の細部を復習できる機会になり、とても良かった。/ 単語をしっかりと覚えていないとできないなと思った。過去問を少しやったので、似た問題が多くて、解けた問題もあった。(4級)/ 指示・説明など分かりやすく良かった。/ 会場と同じ問題集を広げている人がたくさんいたので、皆同じように勉強していると思うと、自分も頑張ろうと思った。/ 気軽に4級受けたけど、やっぱり難しかったね。勉強しなくちゃ。/ とてもスムーズかつなごやかで、落ち着いて受験できた。/ 穴埋め問題が多いけど、会話したいので、会話調の問題が多いといい。/ 昨年仏検4・5級に合格したので、イタリア語にもチャレンジ!問題集何度も勉強したが、頭にはいってこない。今日はダメだなと思って臨んだが、意外と解答できたので、やっぱりあきらめずにもっと勉強すべきだった。合格するかは別だが、興味がでてきた。/ 文法をもう一度勉強し直して再び挑戦します。

(岡山) リスニング・文法・作文の3つの能力が試されるため、難易度は高いが、語学の試験としてはとても良い試験だと思った。/ リスニングの時にメモを取ろうと思って、書いていたら聞けないし、覚えられないし、難しいものだなと思った。/ 5級と併願したが、4級になると随分レベルが上がったように感じた。/ 日頃の成果を試す良い機会だった。/ お世話になりました。引き続き勉強にまい進したいと感じた。

(広島) たぶんまた落ちているのでまたがんばります。/ 初めてイタリア語検定を受験した。難しく感じた。HPに掲載されている過去問が役だった。/ リスニングではたぶん知っている単語が素通りして行き、焦りました。また挑戦します。/ イタリア語を勉強し始めて、何を目標とすればよいかよくわからなかったが、この検定を知り目標が定まった。/ 勉強不足、覚えなかつたものがあやふやな解答しかできなかった。これに懲りずーから頑張ってみます。/ 試験官の方がすごく丁寧でやさしい方だったので、安心して受験できた。/ 勉強不足だったが、少しはできたと思う。/ 人数がすくないからか、静かで集中して臨むことができた。/ 快適に受験できた。

(福岡) 時間が足りなくて焦った。/ もっとやさしい問題にしてください。/ 十分な基礎ができていないことがよくわかった。/ NHKを見ながらの独学だったが昨年近所に教室を発見。そこの先生から“目標があった方が励みになるよ”と受験を勧められ今に至っている。/ 長文に分からない語句が沢山あった、しかし流れの中で意味をくみ取ることができた。/ 素晴らしい試験場ですね。/ 今回は窓がなかったので外の音などが聞こえずに集中できた。/ 長文読解がむずかしかった。/ 今回もダメダメだった:また秋にきます。/ 試験官様の対応がよく毎回気持ちよく受験している。/ ウェブ上のサンプルは大変に役立った。

(宮崎) (沖縄) とくになし

(Milano) リスニングが2度読まれるので、じっくりと試験に集中できた。 / イタリア開催は試験時間を14時からにした方が良いと思います。お昼にレストランで食事をしている暇がなかった。/ 自分のリスニングの弱さを感じていたが、受験によりより明確になりました。今後強化したい。/ 係員の方の指示が非常に明確でよかった。でも教室が少し寒かった。/ 時間配分がむずかしかった。読解の単語がほとんどわからず・・・ヒアリングは会話がはやくて苦労した、あとはできたかな。/ イタリアで受けられるのが嬉しい。

(Roma) イタリアに住み始めて間もなくの受験。英語などに比べて受験者数も多くないと思う中、運営準備にあたられている方にはご苦労も多いと思う。お礼申し上げます。/ 今朝(試験日)はマラソン(?)で道路が封鎖されており驚いた。土曜日の実施がいい。日曜日は電車の本数も少なくローマまでくるのが大変。/ 駅からバスに乗らなければならない場合、会場までの時間をおおまかにでもサイトに書いていただければありがたいです。(⇒早速サイトに記載しました。事務局)

事務局よりホームページ活用のお願ひ www.iken.gr.jp

イタリア語検定試験のお知らせだけでなく、イタリア関係の情報・学校・リンク集など情報を満載しております。過去の問題もe-ラーニング・システムで配信しております。また、情報交換の場として掲示板をご用意しています。どうぞどしどしご活用いただければ幸いです。ご要望等、メール(info@iken.gr.jp)でお寄せください。

<2015年度の試験日程ご案内>

◆第41回 2015年10月4日(日) ◆第42回 2016年3月6日(日)